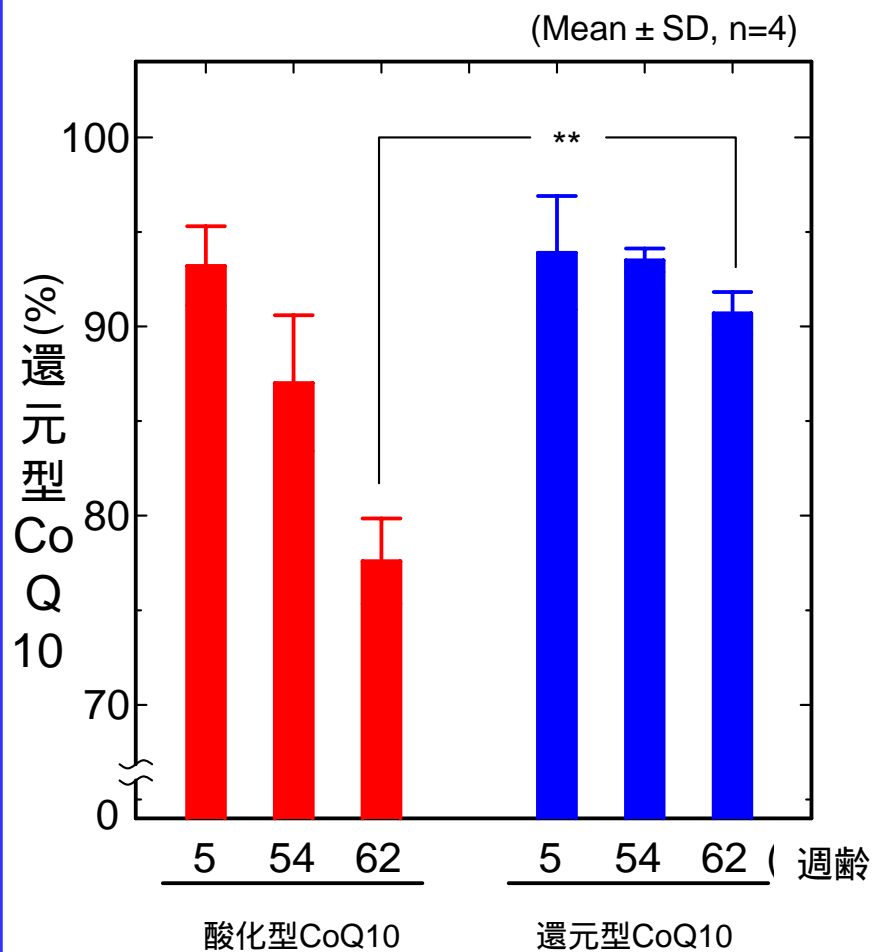


研究情報

酸化型CoQ10を還元型CoQ10に変換する能力は加齢によって低下する(A)

高齢ラットでは酸化型CoQ10を還元型CoQ10に変換する能力が若齢ラットよりも低下している可能性が高い



** p<0.01 U-test

週齢の異なるラット(5、54、62週齢:ヒトでは、およそ7、45、51歳に相当)に還元型CoQ10を経口投与すると、血漿中還元型CoQ10比率は週齢に関係なく90%以上の高い値であった

一方、酸化型CoQ10を投与した場合の血中還元型CoQ10比率は加齢に伴って低下し、62週齢(ヒトでは51歳に相当)では80%未満に低下した

高齢ラットでは酸化型CoQ10を還元型CoQ10に変換する能力が若齢ラットよりも低下している可能性が高い

- Dose: 100 mg/kg, 経口投与
- Sampling: 8 hours after dosing
- Determination: HPLC with ECD

(株)カネカ社内データ